

キウイフルーツ雄品種のフィルム被覆による開花促進

雄花の開花促進を目指して

筒状のフィルムを結果母枝に被覆



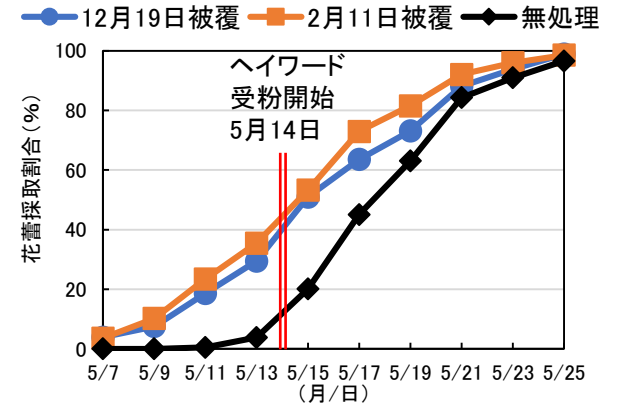
10cm幅の筒状ポリエチレンフィルムを結果母枝に被覆し、両端を紐で閉じる

展葉期に除去



フィルムは展葉期を目安に除去
遅くなりすぎると花数の減少が懸念

開花が5日程度早まる



開花促進により、ハイワードの受粉開始までに花粉の採取が可能

表 調査結果(2020~2021年) 供試品種：チーフタン

試験区	発芽期	展葉期	新梢発芽率 (%)	開花期		1新梢当たり花蕾数(個)		花蕾100個当たり花粉量(g)	
				始期	盛期	中心花	側花	中心花	側花
12月19日被覆	3月24日	3月30日	55.9	5月11日	5月16日	5.9	5.2	1.48	1.23
2月11日被覆	3月19日	3月25日	61.6	5月9日	5月15日	7.0	10.6	1.15	1.12
無処理	3月26日	4月1日	55.6	5月14日	5月17日	6.8	12.6	1.34	1.08

・結果母枝に筒状ポリエチレンフィルムを2月中旬に被覆することで、開花が5日程度早まり、ハイワードの受粉開始までに花粉の採取が可能となる。

(注意点)

・被覆開始が早すぎると、開花促進効果が低く、花蕾数も減少する。

・除去の目安は展葉期頃でそれより遅くなると、花蕾数の減少、花粉量の減少が懸念される。